

平成26年度全国及び岡山県学力・学習状況調査 結果と今後の取組について【学校版】

津山市立鶴山中学校

<p>教育目標(めざす児童生徒像)</p> <p>自ら考え、正しく判断し、行動できる生徒 夢や目標を持ち、進んで学習する生徒 仲間を信頼し、感謝の気持ちが表現できる生徒</p>	<p>今年度の指導の重点</p> <p>学習しつけの徹底を図る。 授業改善を推進する。 規範意識の向上と基本的な生活習慣の徹底を図る。 家庭学習の推進を図る。 小中連携を推進する。 地域・保護者がボランティアの推進を図る。 特別支援教育の推進を図る。</p>		
<p>調査結果について(調査結果において明らかになったこと)</p> <table border="1"> <tr> <td data-bbox="197 501 1088 903"> <p>【学力状況調査の結果】</p> <p>全国 国語・数学のA問題、B問題共に、全国・県の水準を大きく下回っていた。 学習指導要領の「書くこと」の領域は、全国平均との差が縮まっている。 「数学の勉強は好きである。」という割合が県・全国の平均を上回っている。</p> <p>県 社会・理科は、県の平均をやや下回っている。 国語・数学は、県の平均を下回っている。 国語の「漢字の読み」、社会の「外交史」、数学の「図形」、理科の「電流のはたらき」などの分野は、県の平均を上回っている。</p> </td> <td data-bbox="1106 501 1966 903"> <p>【学習状況調査の結果】</p> <p>平日テレビやDVDを観る時間が2時間以上の生徒が6割以上である。 平日ゲーム、インターネットやメールをする時間がそれぞれ2時間以上の生徒が4割をこえている。 家庭学習時間(塾を含む)が、2時間以上の生徒は、平日は県の平均時間より高いが、土日は県の平均時間より低い。 「ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがあるか。」「自分には、よいところがあるか。」「将来の夢や目標を持っていますか。」などの項目は、県の平均を上回っている。 読書が好きな生徒の割合が県平均を上回っている。 「友だちに伝えたいことを上手く伝えることができる。」「友だちの話や意見を最後まで聞く。」などの項目は、県平均を下回っている。 学習塾に通っている生徒の割合が県の平均を上回っている。 家で宿題はしているが、復習をしていない生徒の割合が、60%を越えている。 運動会や参観日に参加する保護者の方の割合が、県の平均を上回っている。</p> </td> </tr> </table>		<p>【学力状況調査の結果】</p> <p>全国 国語・数学のA問題、B問題共に、全国・県の水準を大きく下回っていた。 学習指導要領の「書くこと」の領域は、全国平均との差が縮まっている。 「数学の勉強は好きである。」という割合が県・全国の平均を上回っている。</p> <p>県 社会・理科は、県の平均をやや下回っている。 国語・数学は、県の平均を下回っている。 国語の「漢字の読み」、社会の「外交史」、数学の「図形」、理科の「電流のはたらき」などの分野は、県の平均を上回っている。</p>	<p>【学習状況調査の結果】</p> <p>平日テレビやDVDを観る時間が2時間以上の生徒が6割以上である。 平日ゲーム、インターネットやメールをする時間がそれぞれ2時間以上の生徒が4割をこえている。 家庭学習時間(塾を含む)が、2時間以上の生徒は、平日は県の平均時間より高いが、土日は県の平均時間より低い。 「ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがあるか。」「自分には、よいところがあるか。」「将来の夢や目標を持っていますか。」などの項目は、県の平均を上回っている。 読書が好きな生徒の割合が県平均を上回っている。 「友だちに伝えたいことを上手く伝えることができる。」「友だちの話や意見を最後まで聞く。」などの項目は、県平均を下回っている。 学習塾に通っている生徒の割合が県の平均を上回っている。 家で宿題はしているが、復習をしていない生徒の割合が、60%を越えている。 運動会や参観日に参加する保護者の方の割合が、県の平均を上回っている。</p>
<p>【学力状況調査の結果】</p> <p>全国 国語・数学のA問題、B問題共に、全国・県の水準を大きく下回っていた。 学習指導要領の「書くこと」の領域は、全国平均との差が縮まっている。 「数学の勉強は好きである。」という割合が県・全国の平均を上回っている。</p> <p>県 社会・理科は、県の平均をやや下回っている。 国語・数学は、県の平均を下回っている。 国語の「漢字の読み」、社会の「外交史」、数学の「図形」、理科の「電流のはたらき」などの分野は、県の平均を上回っている。</p>	<p>【学習状況調査の結果】</p> <p>平日テレビやDVDを観る時間が2時間以上の生徒が6割以上である。 平日ゲーム、インターネットやメールをする時間がそれぞれ2時間以上の生徒が4割をこえている。 家庭学習時間(塾を含む)が、2時間以上の生徒は、平日は県の平均時間より高いが、土日は県の平均時間より低い。 「ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがあるか。」「自分には、よいところがあるか。」「将来の夢や目標を持っていますか。」などの項目は、県の平均を上回っている。 読書が好きな生徒の割合が県平均を上回っている。 「友だちに伝えたいことを上手く伝えることができる。」「友だちの話や意見を最後まで聞く。」などの項目は、県平均を下回っている。 学習塾に通っている生徒の割合が県の平均を上回っている。 家で宿題はしているが、復習をしていない生徒の割合が、60%を越えている。 運動会や参観日に参加する保護者の方の割合が、県の平均を上回っている。</p>		
<p>成果と課題</p> <p>国語、数学ともに活用型の問題を苦手としている。 文章で解答する問題に対して無解答率が高い。 数学が好きな生徒の割合が高い。 テスト週間では、家庭学習時間が増え、テレビ等の視聴時間が減った。 学習時間が増えている。 「自分によいところがある。」と回答する生徒が多い。 各教科が好きと回答した割合が高い。 いじめは絶対にいけないと思っている生徒の割合が97%以上である。</p>	<p>課題に対応した改善方法</p> <p>数学・英語における習熟度少人数指導を充実させ、コースに合わせた適応問題を単元ごとに位置づける。 授業の中で自分の意見発表を行う場面を増やし、他に伝えあう言語活動を充実させる。 全学年5教科において「自主学习ノート」の取り組みを実施している。 9月末から、月2回3年生を対象に「土曜日学習会」を行い受験の意識を高める。 授業の中で、「本時の目標」の提示と、「本時のまとめ」を意識する。 教科で正答率の低い分野は、類似問題の授業での活用や定期テストへの出題などを行う。 長期休業中の学習を「出前講座」「質問教室」「補充教室」等で充実させる。</p>		
<p>取組の検証方法及び検証時期</p> <p>中2に学力定着状況たしかめテストの実施(11月) 児童生徒への授業アンケートの実施(学期ごと) 授業自己評価シート、小テストなどの活用(授業ごと) 上記の結果を受けて、改善方法の見直しを図る。</p>	<p>達成目標(数値目標)</p> <p>数学、国語の平均正答率で県平均を上回る。 「各教科の授業がわかる」と回答する生徒の割合を県平均以上にする。 家庭で学校の授業の復習をして、知識の定着を図る。(目標値50%以上)</p>		